

第9回スポーツ健康系学科長協議会開催報告

渉外部長 雪吹 誠(目白大学)

令和3年7月10日(土)にオンライン(Zoom システム)にて33名の参加者のもと第9回スポーツ健康系学科長協議会を開催いたしました。当初は、第8回の参加者アンケートで頂いた意見をもとに、対面・遠隔のハイフレックス型での開催をギリギリまで検討しましたが、新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ感染症)の感染状況を考慮し、昨年度同様オンラインでの開催となりました。

これまでのテーマは、「教育課程の質保証」「キャリア教育と就職支援」「アスリート学生の支援」「入学者選抜方法・入学試験実施に関わる課題」「地域連携・地域貢献に関わる課題」であり大学教員である参加者の方々の要望にお応えすべくより実践的な内容をテーマに設定し、開催してきました。また、昨年の第8回では「スポーツ・健康ビジネスについて」を講演テーマとし、講演テーマに関する内容討議及び、コロナ感染症により実技科目の実践方法について情報交換・検討をするため「スポーツ実技科目のオンライン授業」について討議しました。そこで第9回は、前回討議課題であった実技のオンライン授業と、高等教育のDX(デジタル・トランスフォーメーション)について情報交換及び検討をするため、講演テーマを「未来のスポーツ教育について考える」とし、協議テーマを「未来のスポーツ教育について考える」及び第7回までの協議内容を含む「スポーツ系学科に関する現状と課題について」と設定し、実施しました。

本協議会は、本法人の葛西専務理事より開会の挨拶をいただき、開催の趣旨説明の後、講演テーマである「未来のスポーツ教育について考える」について3名の講師の方にご講演いただきました。

まず最初は、文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課長(前・高等教育局高等教育企画課長)、淵上孝氏より「未来のスポーツ(健康)教育を考える～高等教育におけるDXの展開から～」のタイトルでご講演いただきました。文部科学省の大学における対面授業と遠隔授業の考え方では、通学制大学の遠隔授業の捉え方、法令上の規定、大学の対面・遠隔授業の実施状況及び実施例などお話しいただき、遠隔授業のメリット・デメリットについて、調査結果をもとに説明いただき、大学体育

における遠隔授業の実践、これからの高等教育におけるDXの推進について、各大学のデジタルを活用した大学・高等教育高度化プランについてご紹介していただきました。

次に、文教大学教授(本連合顧問)、小林勝法氏より「スポーツ専門人材育成のDX」のタイトルでご講演いただきました。デジタル・トランスフォーメーションを推進するためのガイドラインの考え方、コロナ感染症によって「教育・学修の新たなパラダイム転換」が引き起こされ、今までの「対面指導が教育・学修のあるべき姿である」という考え方を根底から覆すものであること、今後のキャリア教育の目的が変化していく可能性などをお話しいただきました。

最後に、東京学芸大学准教授、鈴木直樹氏より「DXがもたらす体育指導革命」のタイトルでご講演いただきました。先生自ら実践されているICT技術を活用したスポーツ・体育指導の紹介をしていただき、ICT技術活用のポイント、具体的な体育学修指導場面の革命(VRの活用や様々な技術活用)について、実際の場面動画を含めご紹介、説明いただきました。

今回も各講師の方々からは、多くの資料、情報をご提供いただきました。開催のたびに貴重な資料、情報をご提供いただく各講師の方々へあらためて感謝いたします。

その後、今回の講演テーマである「未来のスポーツ教育について考える」についてと、討議のみのテーマである「スポーツ系学科に関する現状と課題について」について6グループに別れグループ討議を行いました。グループ討議は、他大学の状況を知ることができるプログラムとして高く評価いただいているプログラムです。この協議会自体の参加目的が情報収集、情報交換という方も多く、参加者同士がコミュニケーションをとることができるよう、各グループには渉外部のメンバーが司会役または参加者の一人として参加しました。また、講演者である小林氏、鈴木氏にも講演テーマを討議するグループに参加していただきました。少しグループ討議の時間が足りないという意見が出たほど、活発な情報交換や議

論ができたようです。

最後に各グループで討議した内容をまとめていただき、グループ代表が全参加者に紹介をし、本協議会は終了しました。

事後アンケートにおいて、講演テーマに関する高評価を頂き、またグループ討議については、情報交換ができたとの意見が多数ではありましたが、いまだ討議の時間が十分でなかったとのご意見をいただきました。今後プ

ログラム構成や進行は、引き続き改善していきたいと考えています。次回は、アンケート結果をもとに講演テーマ、グループ討議の設定や時間について、またご希望の多い対面での一部参加など参加者のご要望にこたえることができるよう企画を検討させていただきます。

次回第10回協議会も本年度同様の時期（5月中旬から7月中旬）の開催を予定しております。より多くの関係者をご参加いただけることを祈念しております。

〈第9回スポーツ健康系学科長協議会プログラム〉

13:00 開会

【講演】

・「未来のスポーツ（健康）教育を考える～高等教育におけるDXの展開から～」

文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課長（前・高等教育局高等教育企画課長） 淵上 孝氏

・「スポーツ専門人材育成のDX」 小林勝法氏（文教大学教授）

・「DXがもたらす体育指導革命」 鈴木直樹氏（東京学芸大学准教授）

14:55 【グループ討議】

（1）「未来のスポーツ教育について考える」

1G「情報交換」

2G「教育効果・成績評価」

（2）「スポーツ系学科に関する現状と課題について」

3G「カリキュラム・学問」A

4G「カリキュラム・学問」B

5G「カリキュラム・学問」C

6G「人材育成・実践・就職支援」

15:55 まとめ 各グループ代表発表

17:30 閉会

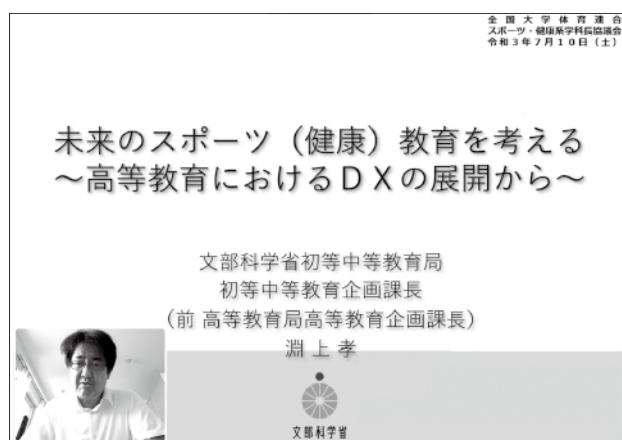


図1 講演1タイトルスライドと講師・淵上氏(左下)



図2 講演2タイトルスライドと講師・小林氏(右下)



図3 講演3タイトルスライドと講師・鈴木氏(左下)